

事業の基礎情報

実施主体	箕面市
事業実施地域	箕面市
共創の種類	官民共創、他分野共創
他分野共創の種類	商業、文化、福祉、地域×交通
共創パートナー	阪急電鉄株式会社、箕面商工会議所、箕面市商店会連合会、箕面FMまちそだて株式会社、公益財団法人メイプル文化財団、社会福祉法人箕面市社会福祉協議会
運行形態	AIオンデマンド交通
運行主体	タクシー会社（阪急タクシー株式会社、株式会社未来都）

取組の概要

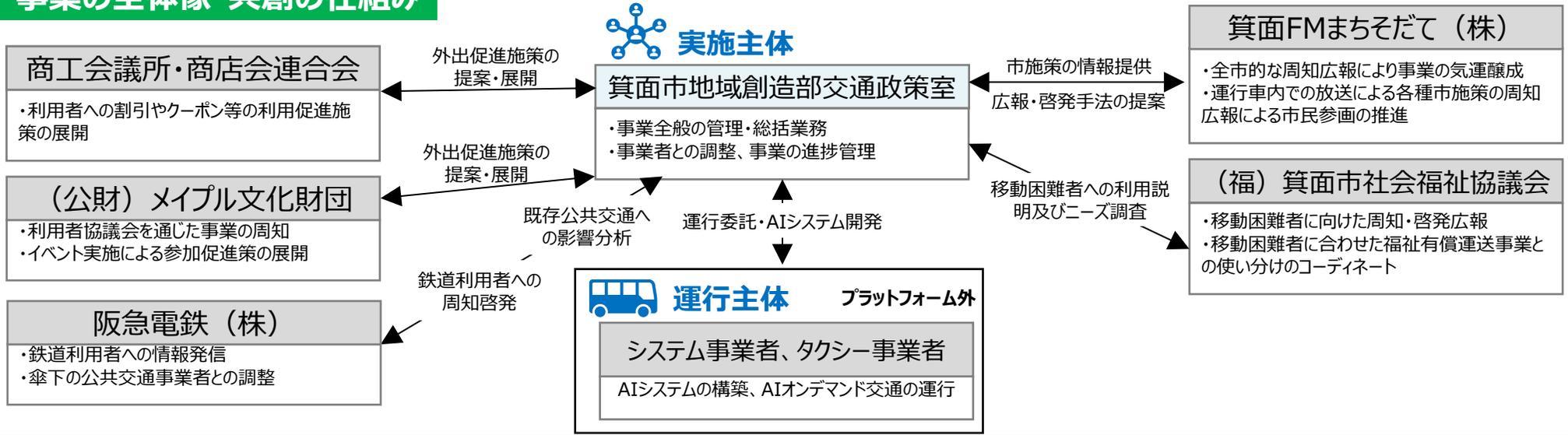
（現状の地域課題と事業目的）

本市は市域の中央に箕面山を抱え、当該山麓部においては高齢化の進行に加え、狭隘かつ急勾配な道路も多いため、既存の公共交通が及ばないエリアが存在する。本事業は従来の公共交通によらない柔軟な公共交通を導入することで、これまで思うように外出できなかった方々が気軽に外出でき、地域の方々がより文化的で豊かな生活ができることを目的としている。

（事業の概要）

市域の2エリアにおいてAIオンデマンド交通の実証運行を行い、急勾配地域における高齢者等の交通利便性の向上を図る。運行による外出意欲の喚起に繋げるため、商工会議所・商店会連合会やメイプル文化財団と連携し、買い物やイベント参加、サークル活動等における移動手段の一つとしてPRする。地域密着のコミュニティ放送や社会福祉協議会と連携し、実証運行エリア内の住民にきめ細かくAIオンデマンド交通の情報を届ける。阪急電鉄との連携により、阪急電鉄の情報媒体を使ったPR、運行事業者となる傘下のタクシー事業者との円滑な調整を図る。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

本地域における沿線まちづくりの中核を担う阪急電鉄、地元交通事情に精通したタクシー事業者などの交通の視点と、地域の商業活性化を担う商工会議所・商店会連合会、暮らしを豊かなものとする文化振興を担うメイプル文化財団、地域住民の生活に精通した社会福祉協議会、市域の情報をキャッチし周知するみのおFMなどの地域のキーとなる団体と行政が、AI オンデマンド交通を軸として関係者それぞれの強みを生かした連携をすることで、「行きたいところに行けない」「気軽に外出できない」といった交通課題を解消し、地域の方々の生活をより文化的で豊かなものにしていく。

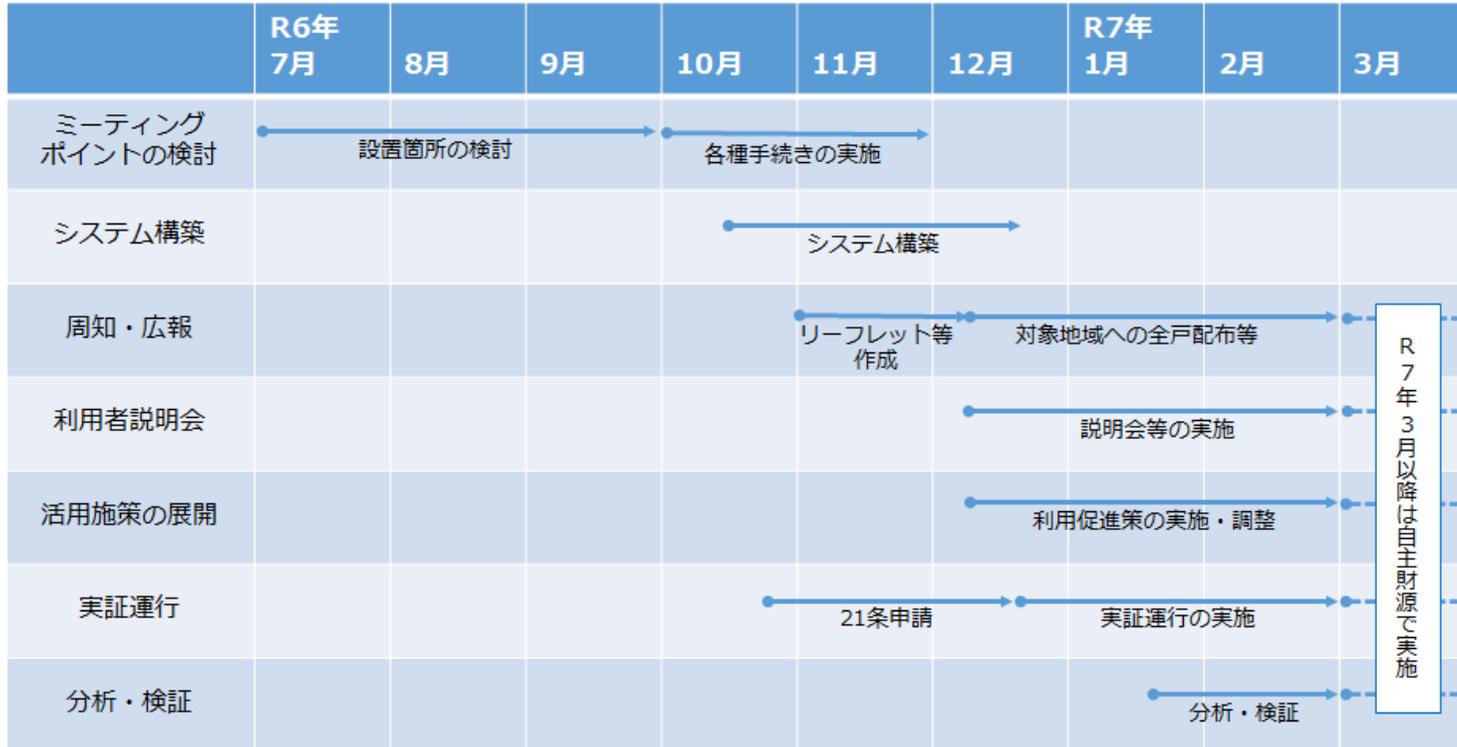
また、地域における複数の関係者が連携・協働して主体的に取り組むことで、地域で育てる交通の具現化が可能となり、ひいては持続可能な公共交通の維持・向上にもつながる。

(実証事業により見込まれる効果)

- ・市民の公共交通に対する満足度の向上 (令和3年度：19.1%→令和7年度：25%)
- ・運行エリアにおける週3回以上の外出割合の向上 (令和4年度：44.8%→令和7年度：60%)
- ・運行車内におけるコミュニティFMの放送により、市施策の周知啓発及び市民参画の推進
- ・外出促進による経済効果
- ・アプリ利用に伴う高齢者へのDX推進

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

- ・令和6年度の運行実績を受け、運行条件等の見直しを行った上で、令和7年度も引き続き実証運行を継続予定。2年間の運行実績の結果及びアンケート結果を踏まえ、令和8年度からの本格運行への移行を検討していく。
- ・本市における新たな地域公共交通の実証事業及び整備に要する経費の財源に充当することを目的に、大阪大学箕面キャンパス跡地活用事業として得られる借地料の一部を積み立てる「箕面市地域公共交通整備基金」を新たに創設し、事業者に対しては採算性を求めていくとともに持続可能な運営ができるよう事業を推進していく。また、商工事業者等からの協賛金なども経費に充当していく。